

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金										令和07年01月30日	
計画の名称	高崎駅周辺地区を中心とした交流創造都市の推進（重点計画）（2期）														
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	高崎市														
計画の目標	・本市は新幹線や高速自動車道等の広域ネットワークの結節点にあり、高崎駅は多岐の鉄道バス路線が乗り入れる県内随一の広域交通ターミナルである。高崎駅周辺市街地では、区画整理事業による基盤整備と市街地再開発事業による建築物整備、高崎アリーナや高崎芸術劇場、Gメッセ群馬といった集客施設の整備が進み、駅東西に民間による商業施設・マンションの建設、地区内人口及び歩行者数増、高崎駅の乗員人数増、地価の上昇といった整備効果が発現している。 ・高崎市都市計画マスタープランにおいて目標としている「交流創造都市」実現へ向け、立地適正化計画に適合する事業を行うことで、新しい高崎を牽引する複層的な拠点の形成を図り都市の魅力を高めるとともに広域交流人口の増加を目指す。 あわせて、良好な市街地住宅を供給することで、高崎スタイルの生活を支える居住地の形成を図るとともに居住人口の増加を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		12,895	A	12,895	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R11末
1	JR高崎駅の乗員人数を45,798人/日（R6）から48,400人/日（R11）へ増加させる。			
	JR高崎駅の乗員人数を把握（JR東日本発表の1日平均乗車人員）	45798人/日	47100人/日	48400人/日
2	該当箇所の路線価を211,667円/㎡（R6）から226,667円/㎡（R11）へ増加させる。			
	中心市街地の3箇所における路線価（国税庁財産評価基準書路線価図）の平均値を調査	211667円 / ㎡	218333円 / ㎡	226667円 / ㎡
3	地区内の居住人口を8,788人（R6）から9,662人（R11）へ増加させる。			
	中心市街地における居住人口を把握（住民基本台帳）	8788人	8915人	9662人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	高崎市	間接	民間	-	-	市街地再開発事業	高崎駅東口栄町地区 SRC造2 7F	高崎市						10,442	1.02	-
	A16-002	住宅	一般	高崎市	間接	民間	-	-	優良建築物等整備事業	宮元町第二地区 RC造19F	高崎市						1,214	1.29	-
	A16-003	住宅	一般	高崎市	間接	民間	-	-	優良建築物等整備事業	連雀町地区 RC造20F	高崎市						1,239	1.32	-
											小計						12,895		
											合計						12,895		